

## 放送100年～メディアとジェンダー～

今年、ラジオで放送が始まってから100年を迎えます。マス・メディアにおける女性の参画は進んでいませんが、ドラマや映画では、多様性やジェンダーを意識した作品が増えています。メディアにおけるジェンダーに関する資料を展示します。



## メディアとジェンダー

No.	書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
1	その〈男らしさ〉はどこからきたの?: 広告で読み解く「デキる男」の現在地 (朝日新書)	小林美香 [著]	朝日新聞出版	2025	674/So48
2	実況ってなんだ!?(NHKシリーズこころをよむ)	清野茂樹著; 日本放送協会, NHK出版編集	NHK出版	2025	699/J51
3	「日本人」であることとメディア: 日本人らしさと世論の社会心理学	山下玲子, 有馬明恵編著	勁草書房	2025	361.4/N71
4	なぜ日本のメディアはジャニーズ問題を報じられなかったのか: 記者クラブという病理 (平凡社新書)	柴山哲也著	平凡社	2025	070/N59
5	広告で社会学 (第2版)	弘文堂	難波功士 [著]	2025	674/Ko44
6	あらがうドラマ: 「わたし」とつながる物語	西森路代著	303 BOOKS	2025	778/A62
7	教育にひそむジェンダー: 学校・家庭・メディアが「らしさ」を強いる	中野円佳著	筑摩書房	2024	371.3/Ky4
8	テレビドラマ研究の教科書: ジェンダー・家族・都市	藤田真文著	青弓社	2024	778/Te71
9	広告文化の社会学: メディアと消費の文化論	宮崎悠二, 藤嶋陽子, 陳海茵編著; 有賀ゆうアニース [ほか] 著	北樹出版	2024	674/Ko44
10	インティマシー・コーディネーター: 正義の味方じゃないけれど	西山ももこ著	論創社	2024	778/I57
11	東アジアのメディア・ジェンダー・カルチャー: 交差する大衆文化のダイナミズム	佐野正人, 妙木忍編著	明石書店	2024	361.5/H55
12	「音」と「声」の社会史: 見えない音と社会のつながりを観る	坂田謙司著	法律文化社	2024	361.4/O86
13	メディアはなぜ沈黙したのか: 報道から読み解くジャニー喜多川事件	藤木TDC著	イースト・プレス	2024	770/Me14
14	ジェンダー・表現の自由・メディア: MIC60周年シンポジウム (放送レポート Number306(2024-1))		メディア総合研究所	2024	699/J36
15	The Routledge companion to gender, media and violence (Routledge companions to gender)	edited by Karen Boyle and Susan Berridge	Routledge	2024	361.5/R76
16	アイドル・コード: 託されるイメージを問う	上岡磨奈著	青土社	2023	767.8/A24
17	日本の初期テレビドキュメンタリー史	丸山友美著	青弓社	2023	699/N71
18	ジェンダー目線の広告観察	小林美香著	現代書館	2023	674/J36

No.	書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
19	ジェンダーで学ぶメディア論	林香里, 田中東子編	世界思想社	2023	361.4/J36
20	『ゼクシィ』のメディア史：花嫁たちのプラットフォーム	彭永成著	創元社	2023	367.4/Z2
21	デジタル社会の多様性と創造性：ジェンダー・メディア・アート・ファッション	田中洋美, 高馬京子, 高峰修編	明治大学出版会	2023	367.2/D54
22	いいね!ボタンを押す前に：ジェンダーから見るネット空間とメディア	李美淑 [ほか] 著	亜紀書房	2023	007.3/I27
23	「おふくろの味」幻想：誰が郷愁の味をつくったのか	湯澤規子著	光文社	2023	383.8/O19
24	Women in the digital world	edited by Anya Schiffrin, Karolina Koc-Michalska, Michelle Ferrier	Routledge	2023	361.8/W85
25	Women in mass communication : diversity, equity and inclusion (4th ed)	edited by Pamela J. Creedon and Laura A. Wackwitz	Routledge	2023	361.4/W85
26	特集これからのメディアとメディア研究を考える(放送メディア研究 15)	NHK放送文化研究所編	NHK出版	2022	699/Ko79
27	フェミニズムとレジリエンスの政治：ジェンダー、メディア、そして福祉の終焉	アンジェラ・マクロビー著	青土社	2022	367.2/F18
28	ハイヒールを履かない女たち：北欧・ジェンダー平等社会のつくり方	あぶみあさき著	かもがわ出版	2022	367.238/H15
29	リアリティ番組の社会学：『リアルワールド』、『サバイバー』から『バチェラー』まで	ダニエル・J.リンデマン著；	青土社	2022	699/R32
30	特集報道とジェンダー (Journalism = ジャーナリズム no.388)		朝日新聞社ジャーナリスト学校	2022	070/J75
31	アイドルについて葛藤しながら考えてみた：ジェンダー/パーソナリティ/「推し」	香月孝史, 上岡磨奈, 中村香	青弓社	2022	767/A24
32	インターネットとフェミニズム：私たちの空間を守る：特集(シモーヌ vol.6)	シモーヌ編集部編	現代書館	2022	367.2/Sh54
33	失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック	新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム著	小学館	2022	367.21/Sh79
34	特集マス・コミュニケーション研究からメディア研究へ(マス・コミュニケーション研究 100)	日本メディア学会編集	本メディア学会	2022	070/To43
35	声を上げる、声を届ける：ラジオ報道の現場から	澤田大樹著	亜紀書房	2021	699/Ko22
36	アクター・ジェンダー・イメージズ：転覆の身振り	北村匡平著	青土社	2021	778/A39
37	ガールズ・メディア・スタディーズ	田中東子編著；竹田恵子 [ほか執筆]	北樹出版	2021	361.4/G24
38	ジェンダーで見るヒットドラマ：韓国、アメリカ、欧州、日本(光文社新書)	治部れんげ著	光文社	2021	778/G34
39	「テレビは見ない」というけれど：エンタメコンテンツをフェミニズム・ジェンダーから読む	西森路代 [ほか著]；青弓社編集部編著	青弓社	2021	699/Te71

No.	書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
40	「みる/みられる」のメディア論：理論・技術・表象・社会から考える視覚関係	高馬京子, 松本健太郎編	ナカニシヤ出版	2021	361.4/Mi49
41	アニメと声優のメディア史：なぜ女性が少年を演じるのか	石田美紀著	青弓社	2020	778/A49
42	「許せない」がやめられない：SNSで蔓延する「#怒りの快楽」依存症	坂爪真吾著	徳間書店	2020	367.2/Y99
43	炎上CMでよみとくジェンダー論（光文社新書）	瀬地山角著	光文社	2020	674/E62
44	メディアスタディーズ（基礎ゼミ）	石田佐恵子, 岡井崇之編	世界思想社	2020	361.4/Me14
45	なぜいま家族のストーリーが求められるのか：「公私混同」の時代	橋本嘉代著	書肆侃侃房	2020	361.4/N59
46	マスコミ・セクハラ白書	WiMN編著	文藝春秋	2020	070/Ma67
47	足をどかしてくれませんか。：メディアは女たちの声を届けているか	林香里編；小島慶子[ほか]著	亜紀書房	2019	361.4/A92

#### メディアで働く女性に関する調査

No.	書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
1	テレビ番組制作会社のリアリティ：つくり手たちの声と放送の現在 / 林香里, 四方由美, 北出真紀恵編		大月書店	2022	699/Te71
2	「災害大国」のメディア スポーツ実況と女性アナウンサー (放送レポート Number292(2021-9))		メディア総合研究所	2021	699/Sa17
3	放送で働く男女に関する実態調査：女性たちは"活躍"できているか	宮崎公立大学 四方由美 (研究代表者)	四方由美	2016	699/H93
4	テレビ報道職のワーク・ライフ・アンバランス：13局男女30人の聞き取り調査から	林香里, 谷岡理香編著	大月書店	2013	699/Te71
5	メディアにおける女性の参画に関する調査報告書		内閣府男女共同参画局	2011	366.3/Me14

#### メディアで働く女性たち

No.	書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
1	私は93歳の新聞記者：ペンとカメラと杖を手に、今日も街を歩きます	涌井友子著	草思社	2025	289.1/W47
2	母、アンナ：ロシアの真実を暴いたジャーナリストの情熱と人生	ヴェーラ・ポリトコフスカヤ, サーラ・ジュディチェ著；関口英子, 森敦子訳	NHK出版	2023	289.3/H14
3	明治大正昭和化け込み婦人記者奮闘記	平山亜佐子著	左右社	2023	070/Me25
4	私はエコアナウンサー：SDGsをジブンゴトに	櫻田彩子著	本の泉社	2023	289.1/W47
5	マーガレット・フラー：近代への扉--ジェンダー、階級、そして人種	上野和子著	金星堂	2023	289.3/Ma29
6	闘いの庭：咲く女：彼女がそこにいる理由	ジェーン・スー著	文藝春秋	2023	281/Ta94

No.	書名	著者名	出版社	出版年	請求記号
7	戦間期チェコのモード記者ミレナ・イエセンスカの仕事：〈個〉が衣装をつくる	半田幸子著	春風社	2023	070/Se67
8	ジャーナリストたち：闘う言論の再生を目指して	前田朗著；新垣毅 [ほか述]	三一書房	2022	070/J21
9	ジャーナリストと謝野晶子	松村由利子著	短歌研究社	2022	070/J21
10	沖縄の新聞記者：沖縄発記者コラム	琉球新報社, 安田浩一編著	高文研	2022	070/O52
11	わたしは「ひとり新聞社」：岩手県大槌町で生き、考え、伝える	菊池由貴子著	亜紀書房	2022	369.31/W47
12	木村よしの おんな記者伝	町田久次著	郁朋社	2021	289.1/Ki39
13	報道現場 (角川新書)	望月衣塑子 [著]	KADOKAWA	2021	070/H81
14	特集女性記者の現在地 (Journalism = ジャーナリズム no.372)		朝日新聞社ジャーナリスト学校	2021	070/J76
15	ドラマスタイリストという仕事：ファッションで役柄をつくるプロフェッショナル	西ゆり子著	光文社	2021	778/D87
16	報道キャスターが現場で学んだ42の仕事術	小西美穂著	光文社	2020	159.4/H81
17	命を危険にさらして：5人の女性戦場ジャーナリストの証言	マリーヌ・ジャックマン [ほか] 著；遠藤ゆかり訳	創元社	2020	070/I55
18	テレビリサーチャーという仕事	高橋直子著	青弓社	2020	699/Te71
19	我がままに生きる。	東海林のり子著	トランスワールドジャパン	2020	289.1/W14
20	その名を暴け：#MeTooに火をつけたジャーナリストたちの闘い	ジョディ・カンター, ミーガン・トゥーイー著；古屋美登里訳	新潮社	2020	368.6/So48

#### 【新聞記事】

No.	記事見出し	新聞名	掲載日
1	世界陸上 来月13日開幕 女性実況、勇気的一步 上村アナ「うれしさと怖さ半々」 多様性重視の時代に「いつか当たり前になれば」 / 岩壁峻、岸本悠	毎日新聞	2025.8.20
2	「性接待」私にも起こり得た フジ以外でも「誘い断り仕事なくなった」女性アナウンサーの「脆弱な立場」 「若さに価値」の意識、変えて / 伊木緑、黒田早織	朝日新聞	2025.6.19
3	多面鏡 放送100年の不祥事 フジ問題 原点回帰を教訓に / 本田誠	産経新聞	2025.4.28
4	フジ 取締役を半減 「社外」過半数 日枝氏ら退任 経営刷新 若返り・女性比率増	読売新聞	2025.3.28

女性教育情報センターは、国立女性教育会館内にある、男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館です。

図書の貸出や複写郵送サービスなどを行っています。資料探しでお困りの際は、お気軽にお問い合わせください！



●文献情報データベース（所蔵検索）  
[https://winet2.nwec.go.jp/bunken/opac\\_search](https://winet2.nwec.go.jp/bunken/opac_search)



女性教育情報センター（国立女性教育会館 情報課）  
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728  
TEL：0493-62-6195 FAX：0496-62-6721  
E-mail：infodiv@ml.nwec.go.jp